

令和4年度第1回多治見市生活支援体制整備推進会議議事録

日 時：令和4年6月20日（月）

10：00～11：40

場 所：多治見市役所 駅北庁舎4階第2・第3会議室

出席：高木浩二会長、浅野みな子副会長、森内佐和子委員、竹内寛委員、林計男委員、加藤六美委員、水野貫二委員、林正勝委員、若尾卓男委員、伴野義久委員、松村三千代委員、浅井朋子委員、吉川幹委員、田中信次委員、吉井よしみ委員、西山知広委員、羽根田真理子委員、水野磨意子委員、村田志野委員、水野千鶴子委員、中村みさ子委員、大中博委員（順不同）

欠席：なし

事務局：加藤福祉部長、加藤高齢福祉課長、三宅高齢者支援グループリーダー、藤井第2層生活支援コーディネーター、山田第2層生活支援コーディネーター、高齢福祉課水野

事務局 | ただいまから令和4年度第1回生活支援体制整備推進会議を開会します。本日は、大変お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。委員長が選出されるまでの間、事務局で司会進行させていただきます。はじめに、福祉部長の加藤からご挨拶申し上げます。

福祉部長 | ～あいさつ～

事務局 | 会議に先立ちまして、資料の確認をしたいと思います。
まず、委嘱状を机上に配付しております。委嘱状につきましては、本来なら委員の皆様おひとりずつにお渡しするところですが、時間の都合上、各委員の皆様のお席に配付させていただきましたのでご了承願います。委員の皆様は、関係団体等からご推薦いただいております、任期は2年間ですので、よろしく願いいたします。

委嘱状のほか、

- ①令和4年度第1回多治見市生活支援体制整備推進会議 次第
- ②資料1 コーディネーター・協議体の配置・構成のイメージ
- ③資料2-1 第1層生活支援コーディネーターの活動について
- ④資料2-2 第2層生活支援コーディネーターの活動について
- ⑤資料3 第2層協議体の取り組みについて
- ⑥資料4 おたがいさま東部 有償たすけあいシステム
- ⑦多治見市生活支援体制整備推進会議委員名簿
- ⑧多治見市生活支援体制整備推進会議委員席次表
- ⑨多治見市生活支援体制整備事業実施要綱

⑩生活応援員フォローアップ講座チラシ

⑪第1回生活応援員育成講座チラシ及び受講申込書

すべて本日机上に配付させていただいておりますのでご確認ください。

次に、本日の会議は、多治見市情報公開条例に基づいて公開とさせていただきます。また、議事録につきましては、事務局で取りまとめの上、委員の皆様にご確認いただいてから、委員名を伏せてホームページで公開させていただきます。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1時間30分を目処に会議の終了を予定しておりますので、ご了承ください。

事務局からの連絡は以上となります。

事務局

それではまず、次第1「委員自己紹介」です。

本日は、委員委嘱後最初の委員会でございますので、委員の皆様から簡単に自己紹介を座席の順でお願いします。

各委員

～委員自己紹介及び事務局紹介～

事務局

次に、次第2「会長・副会長選任」に移らせていただきます。多治見市生活支援体制整備推進事業実施要綱第9条第2項の規定により、会長・副会長については委員の内から互選することとなっております。どなたか推薦があればご発言願います。

～意見なし～

事務局

推薦がなければ事務局案を提示させていただいてもよろしいでしょうか。

～異議なし～

事務局

それでは、社会福祉協議会の高木様に会長を、副会長に根本校区地域福祉協議会の浅野様にお願いできないかと考えております。皆さま、いかがでしょうか。

～異議なし～

事務局

ご異議がないようですので、会長は高木委員、副会長は浅野委員にお願いしたいと思います。

それでは、会長、浅野副会長には席を移っていただき、この後の進行は会長にお願いいたします。

会長

～あいさつ～

それでは次第に沿って進めさせていただきます。

次第3「生活支援体制整備について」を議題といたします。

本日お集りの委員さんには、長い間「生活支援体制整備推進会議」に関わっておられる方もありますが、初めての方もいますので、生活支援体制整備について事務局から簡単に説明させていただきます。

事務局

～資料1に基づき、生活支援体制整備の目的、仕組みについて説明～

会長

資料1のイメージどおり、第1層のコーディネーターとして森内が多治見市全体を見て、第2層として藤井、山田が配置され小学校区を担当しています。

何かご質問等ありましたら伺いますが、いかがでしょうか。

～質問なし～

会長

次に、次第4「第1層・第2層生活支援コーディネーターの活動について」ですが、それぞれコーディネーターから説明願います。

委員

～資料2-1に基づき、第1層生活支援コーディネーターの活動について説明～

第2層
コーディネーター

～資料2-2に基づき、第2層生活支援コーディネーターの活動について説明～

会長

第1層・第2層生活支援コーディネーターの活動について、委員の皆様からご意見、ご質問をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員

笠原地域福祉協議会に生活応援員育成講座を2日間受講し、3日目を受けられなかったため、修了できなかった方がいる。その方にゴミ出しをお願いしていますので早めに受講いただきたいですが、生活応援員育成講座は、今年度実施する予定はありますか。

事務局

今年度実施しますので、受講いただき未受講の講座を受けていただければ

ば修了扱いとなります。

委員 いつ頃実施されますか。

事務局 7月から8月にかけて実施します。封筒の中に開催要項と申込書を配付しています。本日から申し込みを開始しましたので、ご活用願います。

会長 本日、ホームページにアップされているのを確認しました。
次に、次第5「第2層協議体の取り組みについて」ですが、資料3の内容をもとに各地域での地域福祉協議会の活動状況を簡潔にご説明願います。地域福祉協議会が設置されていない校区は、地域包括支援センターから説明願います。

委員 根本地域では住民主体サービスを9月から始めました。根本地域には坂が多くて、坂の上に住む人は坂の下までゴミ出しをするのにかなり負担があるため応援していたところ、その活動が住民主体サービスに該当すると教えていただき、始めさせていただいたところです。また、ボランティアをやってくださる方も少ないため、月に1回開催する運営委員会の中で、区長、民生委員、青少年まちづくり市民会議委員などから広く募集し、活動できる方を増やそうと努力しているところです。

委員 脇之島地域では、移送支援をはじめ15ほどの活動をしており、移送支援は年間6,000人ほどが利用しています。県病院、市民病院は200円、バローへの買い物は無料として、15か所の停留所で乗車いただき、帰りは荷物が多いため自宅まで送るといった形の移送支援システムを10年ほど前から実施しています。脇之島地域は、男性の意見で歴史を作ってきた地域であり、私の代になって初めて女性だけの会議を年6回ほど実施し、女性の視点によるまちの将来に向けての課題をお聞きしました。その中で認知症問題が取り上げられたため、認知症研究の権威を講師として講演会を行いました。コロナ禍ですので190人ほど入れる公民館でしたが、申込制として70人を集め大変好評でした。認知症の最大の原因は高齢化、脇之島地域は多治見市内でもダントツに高齢化率の高い地域ですが、認知症になっても楽しく暮らしていけるまちにしたいと思って活動していますし、次のリーダーにも引き継いでいきたいと思っています。

委員 北栄地域福祉協議会は、4区2町内と各団体との連絡係となっています。全体で協力しながらまちづくりを進めており、各団体との共催事業がたくさんあります。住民主体サービスでは通所型と訪問型の両方を昨年度試験

的に始め、今年度から本格的に動いています。通所型については地域的な課題があると考えます。訪問型については、月に1回ゴミ出し用のチケットを配るときに見守りや話をできるということで、今後訪問型を拡げていくと、いろいろなところで力を発揮できると思っています。

また、移動スーパーについては、どんどん利用者が減っていますが、その理由はそこまで来られないから。非常に速い速度でそのような状況になってきています。ただ、逆に移動スーパー側がその人たちを訪問してくれていますので、移動スーパーへの我々の支援もある程度目標を達成できたと思っています。

いろいろな支援事業を行っていますが、順調にできていますので、新しい事業に取り組める状況ができたと思っています。ゴミ出しについては、北栄地域福祉協議会の広報紙に掲載したところ、問い合わせが殺到し体制づくりに手間取ったため、広報への掲載を取りやめたほどです。それだけ多数の方に求められており、順調に進んでいると思います。

委員

市之倉地域福祉協議会は、人材育成活動からボランティアにつなげていきたいと、昨年脇之島地域の力を借りて、包丁研ぎ講座を実施しました。今年度も講座を実施し、ボランティアにつなげていきたいと考えていますが、実際には講座に来てくれたからすぐにボランティア活動をしてくれるとか、若い方が入ってくるという状況ではありません。現在ボランティア活動している人も高齢化していくため、新しい方につなげていきたいと考えています。

委員

笠原地域では、令和元年11月から生活支援を行っています。1年半以上経ちますが、なかなかボランティアが見つからなかったり、ボランティアが一部の地域に固まっていたりして、要望があっても支援できない現状があるため、どのような方策がよいのか検討しています。

また、現在は草取りとゴミ出しの活動を行っていますが、草取りだけでなく木を切ってほしいという要望もあるため、私が行うこともあります。ボランティアがまち全体にうまく確保できれば事業もスムーズに進むと思います。

委員

養正地域福祉協議会では、まだコーディネーターは配置されていませんが、サロン活動等を実施しています。昨年度から青少年まちづくり市民会議と合同で養正地域会議を立ち上げました。区長、各学校長、幼稚園・保育園長、民生児童委員と養正地域の広範な福祉活動の支援体制を構築するというので発足しましたが、ボランティアの確保が難しいため、ベルマークボランティアを立ち上げ、月に1度か、二月に1度7~8人の母親に集

まってもらい活動してもらっています。これも一つのボランティア育成につながると考えています。

委員

共栄地域福祉協議会では、バローとピアゴへの移送支援事業を行っていますが、今後は教育面での順番型の移送支援が必要と考え、多治見市と協議をしています。また、今年度から生活支援事業の担当を1人置き、生活応援員を3人育成し、研究しながら取り組んでいこうとスタッフを集めています。そのほか、フリーマーケットを開いて、会員を増やしていきたいとも考えています。共栄地域福祉協議会は、20区、21区、49区の3つの区、代表者会と運営委員会から組織されています。生活支援事業に関して3つの区からの応援を今後どのように要請していくのか、人員確保の問題もあるため、3つの区と少しずつ話し合っていければと考えています。

委員

小泉地域福祉協議会は、他の地域ほど深く掘り下げて取り組めていない状況です。昨年度アンケートを実施し、地域ニーズの把握に努めた結果、ゴミ出し、草刈り、庭木の剪定などの要望がありました。まだ体制を確立できていないため、ゴミ出しから始めようと体制づくりを進めているところです。要望した人と活動する人をどのようにつなげるのかという課題も含めて検討中で、今年度中に実施できればと考えています。

そのほか、よぶくるバスについては、車に乗れなくなる前に登録しておこうという人がたくさんあったため申込者は十分にありましたが、なかなか使ってもらえないという話を伺っています。よぶくるバスも公式運用となったため、できるだけ使ってもらえるように呼び掛けてまいります。

子ども食堂については貧困世帯に限定すると利用しづらくなるため、裾野を広げる意味で、本来のスタイルは前面には出していません。半面利用者が増えてしまい最大80食を準備して開催しているところです。

会長

地域福祉協議会を置かれていない精華校区について、精華包括支援センターから発言願います。

委員

精華校区では、昨年度買い物についての困り事などの実情把握をするためマッピング等を行いました。スーパーなどの店は近くにありますが、国道19号線や国道248号線を渡れないという問題があります。校区内でもそれぞれ地域によって実情が違うため洗い出しをしている状況です。

会長

南姫校区について、南姫包括支援センターから発言願います。

委員

南姫校区は、30区という一つの区であり、区長さんや町内の方たちの会

議に出席させていただいたり、民生委員、福祉委員と一緒にあって、見守り活動を行ったりしています。昨年度から、月に1回、第2層の生活支援コーディネーターとともに地域ケア会議を開催し、地域課題の抽出を行っています。集会所はたくさんあるものの、地域の方々のサロンが少ないことが昨年度課題として挙げられましたので、地域の集会所を活用したサロン開催の支援活動をコーディネーターと協力して今後行っていく予定です。

会長 滝呂校区について、滝呂包括支援センターから発言願います。

委員 滝呂校区は、資料3の裏面の一番下にありますように、第2層協議体として滝呂校区地域力向上実行委員会があります。昨年11月には、滝呂校区全体で滝呂ぶらぶら祭りを開催され、顔の見える関係づくりに取り組まれました。今年度から地域交流、防災、子育ての3つの分科会を置き、より幅広い活動に発展させていけたらと思っています。

会長 昭和、池田校区について、太平包括支援センターから発言願います。

委員 昭和校区は、9区つながりの会において昨年度取り組まれた花いっぱい運動を今年度も継続して取り組まれます。7月に会合が予定されていますので、状況を確認していきます。また、昨年度末から爽ケアさんをお願いしていたつながりの会は差し控えるということ伺っています。

「さんさん京町サロン」については、参加者が減少して活動停止状態になっていますが、せめて一般介護予防教室を定期的で開催したいと仰っているため継続的な動きになるとよいと考えています。

池田校区については、池田寿会の会議に2か月に1回参加していますが、認知症カフェや音楽会、Vドラッグと共催した「くすりんカフェ」を事前に案内しました。包括支援センターの事業内容を紹介しながら、地域力を高めていきたいです。

会長 それでは、ここで資料4にございます「おたがいさま東部」さんの有償たすけあいシステムについてご説明いただきたいと思います。

委員 有償たすけあいシステム「おたがいさま東部」の担当している範囲は、生協の配達区域になりますので、東は中津川市、恵那市から西は富加町、坂祝町まで担当しています。事務所は、旭ヶ丘の美濃焼卸団地の一番隅っこの生協の中にあります。ヘルパーの資格者等はいませんので、私どもにできることは、生活の中でちょっと困ったことを資料2ページの携帯番号

に電話をかけていただくとコーディネーターが電話を受け、詳しく話を聞いて内容に合った支援員を派遣することになっています。

応援の様子として写真を掲載しましたが、膝や腰が痛むため屈むことができなくなったとお風呂とトイレの掃除の依頼が多くあります。車に乗れなくなった方や、お墓が遠くにある方からはお墓の掃除の依頼が来ますし、草取りの依頼もあります。10月から年内は大掃除の依頼が増え、窓ふきや換気扇や電球の傘など、椅子や脚立に上がれなくなった依頼者から高いところの掃除の依頼が多くあります。季節柄ストーブを片付けたいので灯油を抜き、ほこりを払ってほしいという依頼が来ます。あちらで検査、こちらで検査ということになると大変ですので、通院介助の依頼も多く受けています。一緒に診察室に入って医者のお話を一緒に聞いてほしいという依頼も来ますので、メモを取ったり、薬剤師のお話を聞いたりしています。

買い物代行についても、コロナ前は利用者とともに冷蔵庫を開け、次に買ってくるものを相談したりしていましたが、今は家の中に入ることができませんので、メモを書いておいていただいたり、チラシに印をつけてもらったり、空き袋を残していただいたりしています。ペットボトルのケースなど重いものは家の中まで運び入れますが、基本的には玄関でのやり取りとしています。

珍しい応援では、ベッドの柵のカバーづくりがあります。ベッドの柵で足や手を挟んでけがにつながるがあると依頼があったため、手芸の得意な方にカバーを作ってもらいました。洋服のリメイクではカーディガンの身体の部分を座布団にして、袖の方をレッグウォーマーにしてもらいました。また、手紙の代筆や年賀状の宛名書きについても依頼があったため、支援したところでした。

コロナ禍でできなかったこともあります。施設では外部の人の入室を制限しているため、話し相手として近くで話すことができませんでした。集団託児についてもイベントが中止になった関係でできなくなりましたが、逆に、息子さん、娘さんがコロナで来られなくなったため、ゴミ出し、灯油の給油、電球交換などの短時間の依頼が増えてきました。そのほか入・退院・通院の付き添いも。

食事作りでは、最近はおとんどの方がお弁当を取っていらっしゃるため、味噌汁だけ、サラダだけ作ってという簡単な食事作りになっています。また、産前産後のお手伝いも多くなっています。リサイクル当番で長い間立ってられないから代わりに行ってほしいとか、2階で寝られなくなったから、ベッドだけ1階におろしてほしいとか、荷物を全部降ろしてほしいという依頼も来ています。パソコンやスマホの使い方などを教えてほしいという依頼もありそれぞれ適した方に対応していただいています。

会長 それでは、第2層協議体の取り組みについて報告がありましたが、委員の皆様からご意見等があれば伺いたいと思います。

委員 ボランティアが集まらないとその事業が成り立たないのであれば、事業計画の立て方を考え直さないと無理だと思います。町内会の役員すら、なかなか決まらない状況の中ではボランティアもあまり多く集まらないと思います。ボランティアはあまり集まらない前提の中で、計画が成り立つように、計画の見直しをし、ボランティアが気持ちよく活動できる仕組みづくりが必要だと思います。地域福祉の支え合いという言葉があるように、計画を立てる側も支援する側もお互いに支え合いの気持ちで動かないとうまくいかないのではないのでしょうか。

委員 皆さんが地域の中でいろいろなことを考え行動しておられることがよく理解できました。

委員 私どもでは、訪問介護コミケアとしてヘルパー事業を行っており、その中には介護保険では対応できないものもあり、実費サービスとして保険外で対応しています。おたがいさま東部さんと同様に、通院介助、買い物の手伝い、大掃除の依頼を受けることが多くあります。ただ、担っているのはヘルパーです。介護保険サービスだけでヘルパーが足りない状況の中、ほかのサービスと時間帯が重なるためゴミ出しへの対応を限らせていただいているのが現状です。

また、緩和型サービスとして総合事業にも対応していますが、これも同じくヘルパーが担いますので、対応が難しい状況です。だからといって生活応援員一人に来ていただいても、一人だけではなかなかサービスを受けることができません。ある程度の人数が働いていただける状況が作れないとサービス自体を受けられないため、なかなか繋げられない状況になっています。

大畑町と虎溪山町のオアシスデイサービスでは、緩和型の通所型サービスとして入浴の手伝いをしています。送迎付きで入浴の手伝いと見守りをしてはいますが、なかなか定着しませんでした。ようやく昨年くらいからニーズに合致する方が出てきて、1回に4人くらい受けられる状況になってきています。浴槽が使えないなど自宅で入浴できない方があるので、ニーズに合わせて対応しているのが現状です。

委員 シルバー人材センターは、市内全域を対象としていますが、人材確保が厳しく、コロナ禍でもあり全国的に人材が減っている状況です。先ほどの発言のように清掃の仕事でも脚立に上がる掃除は基本的に断るなどの決ま

りがある中で、高齢者ができる仕事、できる支援を行っていきます。2年ほど実施できていませんが、2月から3月にかけて会員に限らず一般高齢者を対象とした剪定やふすま・障子の張替えなどの講習会を予定しています。さらに、今年度はスマホ講習も検討しています。そのような形で人材の確保をしたいと考えています。

また、「ほっとふる」にて、地域の高齢者の交流の場を提供しています。

委員

いろいろな地域の方がいろいろな取り組みをされていることを理解できました。昭和地域では先ほど9区の取り組みについての発表がありました。8区では地域としての活動があまりありませんので、地域としてどのように大きくしていくのか興味を持ちました。一人の力ではできませんが、協議体がない校区においても協議体を起こして、それを活動につなげられるよう、少しでも進んでいくとよいと思います。昭和地域にも協議体ができたらよいと思います。

会長

次に、次第7「地域課題に関する意見交換」について、事務局から説明願います。

事務局

多治見市生活支援体制整備推進会議につきましては、平成30年度から4年間、年2回ずつ開催し、今年で5年目になりました。昨年度までの会議では、第1層・第2層の活動報告、意見交換で終了し、同様のことの繰り返しになってしまっているのご意見もいただいております。

委員の皆様には、今後2年間、この会議の委員としてご活躍いただくわけですが、そこで、今年度からは委員の皆様の任期である2年間をかけて、何かひとつのテーマで議論を深めていただこうと考えております。今回の会議は従来通りに進めてまいりましたが、次回以降はグループ形式での討議・発表のような形式での進行を考えています。

本日は、この2年間話し合っていくテーマをご決定いただきたいと思います。先ほど人材が集まらないという意見が出ていましたし、昨年度までの会議の中で、担い手づくりが課題として挙げられていたと伺っています。

第8期高齢者保健福祉計画策定のためのニーズ調査において、65歳以上の一般高齢者に「地域づくりに対する参加意向」について尋ねたところ、既に参加している6.0%、是非参加したい8.7%、参加してもよい46.0%でした。まだ参加していない人の中で、是非参加したいとか、参加してもよいと思っっている方が55%ほどあることとなります。また、参加者のうち生きがいを感じている割合は6～7割となっており、地域づくりへの参加が生きがいを持って生活するための方策の一つの役割を果たしていることが

示されました。55%ほどの潜在的な担い手をいかに発掘していくのかということについて、皆さんで今後議論を深めていただきたいと考えていますので、そのような形で次回の会議からはご参加いただけるとありがたいと事務局としては考えています。

ご意見等あれば伺いたいと思います。

会長

ただいま説明がありましたように、今後は本日のような会議の構成ではなく、グループ討議等を進めていきたいと、また、今期の課題として「潜在的な担い手を発掘」「参加に導くためのきっかけづくり」をテーマとし、議論を進めたいという提案でしたが、これに対しご意見はありませんか。

～意見なし～

会長

それでは、次回からはそのように進めてまいります。
続いて、次第7「その他」について事務局から説明願います。

事務局

～令和4年度第1回生活応援員育成講座開催の案内～

会長

最後に発言のなかった方からご発言をいただきたいと思います。

委員

北栄地域福祉協議会とは連携を密に取らせていただいています。昨年の北栄包括支援センターの事業として認知症カフェやあんしん声掛け訓練を地域の方に応援していただいていた実施しました。地域の方とともに活動することは大切だと思っていますので、あじさいサロンやゴミ出しなど、情報をいただければ、こちらができることはできるだけたくさん応援したいと思います。このような付き合いが大切だと思い、しょっちゅう出入りさせてもらっています。地域のことは地域の方が一番よく知っておられるので、今後もつながりを大切にして活動していきたいと思います。

委員

今年度から笠原地域包括支援センターを担当していますが、いろいろな集まりに積極的に通うようにしていきたいと思います。今年度は、市之倉の人材育成事業や笠原未来プロジェクトにも関わっていききたいと思います。

委員

潜在的な担い手の発掘について、今後活発な議論ができることを楽しみにしています。

会長

次回の会議については、11月8日午前10時から駅北庁舎4階大ホール

にて予定しております。開催の1月ほど前にご案内させていただきますので、本日の議論を踏まえてグループ討議を行えるよう、日頃から課題の抽出等をしていただきますようお願いいたします。

本日の議題は以上となりますが、最後に副会長からご挨拶をいただきます。

副会長

事務局からグループ討議の提案がありましたが、今後は困っていることの解決策を具体的に聞ける委員会になるのではないかと期待しています。様々な取り組みを今後どのように発展させていったらよいのか皆さんと考えていきたいと思えます。

会長

これをもちまして、令和4年度第1回多治見市生活支援体制整備推進会議を終了いたします。